

令和6年7月10日（水）

被爆体験伝承講話

平和学習の一環として、被爆体験伝承者の方においでいただき、被爆者から受け継いだ被爆体験や平和への思いなどをお話いただきました。公益財団法人広島平和文化センターから委嘱された伝承者の方が約50分に渡って、戦時下の人々の暮らしや原爆の概要等を伝えてくださいました。大変貴重な時間でした。

「日本に生まれた者として未来に語り継ぎ、二度と同じ事が起こらないようにしなくてはならないと思いました。」「今まで、原爆の話聞いたことはあったけれど、ここまで細かく聞いたのは初めてだった。戦争がどれだけ恐ろしくて悲しいものか、全世界の人に分かってほしいと思った。」「原爆投下から数十年経ち、実際に被害を受けたり、見たりした人が少なくなる中で、周りの人へ話を受け継いでいくことが使命だと改めて感じました。」など、生徒一人一人が講話を聞いた上で、今の自分にできることや命の大切さについて真剣に考えることができました。

